



全産産廃廃棄物連合会が行っている「CO<sub>2</sub>マイナスプロジェクト」の最終エントリー数がこのほど発表された。参加企業数は1091社と当初予想を大きく上回る参加があり、処理業界でもCO<sub>2</sub>削減への関心が高まってきていることを表す結果となった。

同プロジェクトは全産産廃連の下組織である青年部協議会の企画・実施で行われているもので、全国の産廃廃棄物協会青年部が電動バイクチャラパンを実施、普及啓発を図っている。

# 全産産廃連のCO<sub>2</sub>マイナスプロジェクト 最終エントリー数1991社

## 処理業界の関心の高さ反映

員企業がエントリーし、削減効果がある具体的な手

法を選択してCO<sub>2</sub>削減を目指すもの。昨年11月から今年3月までエントリーを受け付けていた。エントリー数は、受け付けを開始した昨年11月には400社、今年3月には1千社を突破したが、さらに受け付け終了直前の駆け込みエントリーも多く、最終的に千に迫る数字となった。

同プロジェクトの事務局は、CO<sub>2</sub>削減など環境コンサルティングを手掛けるカーボンフロンティアが務めている。同社の中西武志社長は、「様々な業種のCO<sub>2</sub>削減コンサルを手掛けているが、業界を挙げてのCO<sub>2</sub>削減の取り組みで、これほど多くの参加があったのは過去に例

がないのでは」と話す。同プロジェクトではエントリーを行った各社が、全産産廃連が環境自主行動計画を策定した2007年11月から今年9月までのCO<sub>2</sub>削減への取り組みを報告。この中には、11月23日に横浜市で行われる青年部の全国大会で表彰される予定となっている。表彰項目は「エントリー部部門」、「優良取り組み部門」、「エコアイデア部門」、「生活部門」、「共同削減部」の5部門。

プロジェクトの普及啓発活動としては、「電動バイクチャラパン」などを実施している。期間中に全47都道府県を電動バイクで回り、各地域の産

廃協会やその青年部が様々な啓発活動に活用している。こうした取り組みを、プロジェクト期間を通じて行い、プロジェクトの周知とともに、期間中の参加者のモチベーションの維持を図っていく考えだ。

11月23日の青年部全国大会は「海より幸より大地より」のテーマで、青年部会員のほか横浜市内の小学生、中・高・大学生や一般市民なども招待する計画で、1万6000程度の参加を見込んでいる。

**中国資源・環境データシリーズ**  
気候、気圧、気温、降水量、湿度、太陽輻射量、土地利用と被覆、土壌タイプ、土壌浸食、社会経済データなど

**中国数値地図シリーズ**  
水系、運河、地質、地形、土壤データ、植生、森林、砂漠化など

**CBS株式会社**  
http://www.cbs-n.com TEL: 03-5291-2718 FAX: 03-5291-7368